

## 第1回双葉町復興町民委員会 議事要旨

■日 時：令和4年4月21日（木） 13時30分～14時40分

■場 所：双葉町いわき事務所 2階大会議室

■出席者：復興町民委員 委員12名（欠席：4名）

オブザーバー 福島県避難地域振興課

双葉町 町長、副町長、教育長、参事、各課長等

事務局 復興推進課

■議事概要：

1. 開会（略）

2. 町長あいさつ（略）

3. 委嘱状交付

委員会並びに副委員長の選任

○委員長に岩本委員、副委員長に高野委員を選任

4. 委員長あいさつ（略）

5. 説明事項

(1) 双葉町復興まちづくり計画（第三次）本体版案の説明【資料1、2】

(2) 双葉町復興まちづくり計画（第三次）策定スケジュール説明【資料3】

○資料について事務局より説明

6. 協議事項

(1) 双葉町復興まちづくり計画（第三次）本体版案について

(2) その他

○主な意見

（郡山海岸について）

・郡山海岸を中間貯蔵施設の区域から除外してほしいと以前からお願いしているが、現時点での国との協議状況を教えていただきたい。

→郡山海岸を中間貯蔵施設の区域から除外する要望は町から環境省にしているが、中間貯蔵施設の区域は法律で定められているため、法律の改正に時間が掛かっている。  
また、細谷海岸も防潮堤の災害復旧工事を県で進めていくにあたり、中間貯蔵施設の

区域からの除外を要望しており、引き続き早急に解除してもらえるよう要望していきたい。

→郡山海岸については、環境省のほうで中間貯蔵施設の網を外す理屈を考えてるところ。引き続き、地元から強い意向があることは町から伝えていきたい。

・郡山海岸の一番大事なところに環境省が賠償できなかった相当大きな区画が残っている。その地権者の誤解を解かなければ、郡山海岸の開発は進んでいかない。

→国とともに理解が得られるよう取り組んでいきたい。

→これは非常に重いご指摘だと思っている。中間貯蔵施設の網を外すには、地権者の誤解をしっかりと解いてからでないと進んでいかない話だと重々承知している。環境省と連携しながらしっかりと対応していきたい。

(伝統文化の継承について)

・第三次計画は今後5年間の計画だが、伝統文化の継承はどの団体も後継者不足で5年は待てない。町のほうで予算化して有識者から方策を聞くなど、早急に対応してほしい。

→後継者不足に関しては教育委員会内部でも議論はしているが、具体的なアイディアは不足している状況。これまで、現在活動している団体の発表の場を確保することを最優先にやってきたが、今後、有識者にもお願いして芸能保存と後継者をどう増やしていくか検討していきたい。

→帰町すれば民俗文化や伝統関係が1つの大きな町民のきずなや心の拠りどころになると認識している。5年は待てないと思うので、皆様のお力やお知恵もお借りして、スピード感を持って対応していきたい。

・婦人会でやっている相馬の流山踊りも人が減っていくのではと心配している。町から声掛けしてもらうことは可能か。

→町からもアナウンスしていきたい。

・私は前沢の女宝財踊に参加しているが、区長さんを通してタブレットでお知らせしたり、知ってる人に声掛けもしているが、なかなか後継者が見つからない。本来なら12、3人でやる場所を現在は8名くらいで、できるだけ頑張りましょうと皆さんに声掛けながらやっている状況。

(帰還困難区域について)

・10年以上避難しているなかで帰れるかというとなかなか難しいが、誰もが自宅に帰れない虚しさはあると思う。帰還困難区域は、国のほうで帰還する人のところを除染するという方向性が示されたが、時間は掛かってでも除染していつでも戻れる状態にしておくべきだと思うため、今回の第三次計画で「すべての住民の帰還実現を目指

す」と記載いただいたことに感謝する。

- ・区長会で白地地区の今後について議論した際、山田地区のことは何も出なかった。山田地区は除染すれば約6割の人が帰りたいと思っているのに、山田地区のことが全く出てこないのは可哀そうだと思います、事前アンケートで帰還困難区域の取り扱いについて意見を出した。
- 町として帰還困難区域への帰還を諦めることはいささかもない。そういった方々に対する町の姿勢も示すために今回第三次計画に色々記載しているため、ご理解いただきたい。

(農業について)

- ・人手が足りず町内の圃場整備が進んでいない。圃場整備が進まないと農業は成り立たないと思うが、町としてどう考えているのかお聞きしたい。
- ここ数年、各地区の農業関係の方々から圃場整備が必要なんだという声が上がっているのは我々も重々承知しており、非常に重い課題だと捉えている。圃場整備は町の課題でもあるため、庁内で連携しながら圃場整備をしっかりと進めていこうと考えている。地元のほうにもご説明をしながら、進めていく体制を整えていきたい。

(除染・解体について)

- ・実際に除染解体は継続して行われているのか。除染を1回やったところでも、また除染してもらえるのか。
- 除染直後から1年後に再測定し、線量が高ければ環境省のほうでフォローアップ除染をしている。また、地権者が納得するよう、希望があれば除染の結果や現在の線量がどのくらい下がっているのかなど、環境省から説明することになっているが、不十分なことがあれば町から環境省に言っていきたい。

(県立双葉高校について)

- ・双葉高校は来年で100周年を迎える。県立だが、町としても関わりを持って100周年を成功していきたいと思っている。
- 100周年記念事業が予定されているのは町としても承知しており、実行委員会と町との共催ということで進めていくことが決定している。

(交流施設について)

- ・町民同士が集える交流施設がこれから必要になってくると思う。お金を掛けるだけではなくて、温かみがあって利便性のある施設を町では考えていく必要がある。コミセンを活用するのか、新たに整備をするのか、今言える段階での町の考えをお聞きした

い。

→既存の公共施設の活用を検討している。、駅コミュニティーセンターとシアターホールも交流施設の候補となりえる施設と考えており、活用方針も含め意見を聞きながら検討している。

(駅前を中心としたまちづくりについて)

- ・町は駅を中心としたコンパクトなまちづくりを進めていく方針としているが、町有地ありきではなく、新たなまち並み、新たな整備をするという意味で、財源の問題もあると思うが、こういうまちづくりにして良かったと思えるようお願いしたい。
- 駅前が重要と考えているが、まだ駅東地区では面的な整備が進んでいないため、まずはスモールスタートという形にはなるが、しっかりと進めていきたい。

(公共施設の利活用について)

- ・既存の公共施設を利用するのは大変有効なことだと思うが、利用するにあたって、どういう人、どういう団体の意見を聞いて検討しているのか。
- 第三次計画に記載している内容は町としての具体的な案。この案を切り口に、今後、様々な団体の方々の意見を聞きながら最終的に決定していきたい。

(道路について)

- ・これからのまちづくりを進めていくなかで、道路網をどうしていくかという都市計画を早く決めたほうがよいと考えている。例えば旧国道、長塚から新山までを拡幅するとか、そこも今後やっていただきたい。
- 道路整備計画は今後重要になってくるため。復興シンボル軸を中心とした新たな道路網計画を策定していきたいと考えている。旧国道については、駅東の計画とあわせて形でやっていきたい。

(第三次計画について)

- ・各委員からの様々なご意見を踏まえ、計画修正に活かし、計画策定を進めていただくということでご承認いただけるか。
- 異議無し。

## 7. 閉会 (略)

以上